

科目名	精神看護学演習 I B Psychiatric and Mental Health Nursing Seminar I B		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402) 前川 早苗 (広域分野) 奥野 史子 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 前期	科目 区分	専門科目		選択 区分	コース 必修	単位数 (時間)	3 (90)	授業 形態	演習	科目等 履修生	可
科目 目的	精神専門看護師としての卓越した看護実践に必要な精神領域のセラピーの実践について演習を通して学ぶとともに、各セラピーを精神看護における援助として看護場面に適応させる能力を修得する。											
到達 目標	1) 精神領域のセラピーの計画・実施・評価の実際を理解する。 2) 精神看護援助の基盤となる治療的な患者・看護師関係の評価および自己洞察をすることができる。 3) 精神領域のセラピーの精神看護における援助場面への適応を計画することができる。											
成績評価方法 (基準)	①レポート (30%) ②演習内容及びディスカッションへの参加 (70%)											
教科書	随時紹介する。											
参考書等	随時紹介する。											
受講者への メッセージ	積極的にディスカッションに参加してください。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション 学習内容と課題・目標の設定				・授業目標、授業日程、学習課題を確認する。 ・臨床場面での演習計画の立案についてオリエンテーションを行う。				木戸 他	演習		
2回	個人精神療法と精神科面接の実際①				・個人精神療法と精神科面接の理論と技法についての講義とディスカッションを行う。				木戸 他	演習		
3回	個人精神療法と精神科面接の実際②				・臨床場面での個人精神療法を参加観察し、目的、治療構造、用いられた理論と技法、アウトカム、精神看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
4回	個人精神療法と精神科面接の実際②				・臨床場面での個人精神療法を参加観察し、目的、治療構造、用いられた理論と技法、アウトカム、精神看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
5回	集団療法の実際①				・集団精神療法の理論と技法についての講義とディスカッションを行う。				木戸 他	演習		
6回	集団療法の実際②				・臨床場面での集団精神療法を参加観察し、目的、集団力動、対象選定、内容、アウトカム、精神看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
7回	集団療法の実際②				・臨床場面での集団精神療法を参加観察し、目的、集団力動、対象選定、内容、アウトカム、精神看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
8回	集団療法の実際③				・認知行動療法およびSSTの理論と技法についての講義とディスカッションを行う。				木戸 他	演習		
9回	集団療法の実際④				・臨床場面での集団認知行動療法またはSSTを参加観察し、目的、集団力動、対象選定、用いられた理論と技法、アウトカム、精神看護の援助場面への適応について考察レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
10回	集団療法の実際④				・臨床場面での集団認知行動療法またはSSTを参加観察し、目的、集団力動、対象選定、用いられた理論と技法、アウトカム、精神看護の援助場面への適応について考察レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
11回	精神科薬物療法の実際①				・脳の機能と向精神薬の作用についての最新の知見、薬物療法と副作用のアセスメント、服薬自己管理への支援についての講義とディスカッションを行う。				木戸 他	演習		
12回	精神科薬物療法の実際①				・脳の機能と向精神薬の作用についての最新の知見、薬物療法と副作用のアセスメント、服薬自己管理への支援についての講義とディスカッションを行う。				木戸 他	演習		
13回	精神科薬物療法の実際②				・臨床場面での服薬心理教育、個別の服薬指導、薬剤調整ミーティングなどに参加観察し、目的、方法、アウトカム、看護の役割について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
14回	精神科薬物療法の実際②				・臨床場面での服薬心理教育、個別の服薬指導、薬剤調整ミーティングなどに参加観察し、目的、方法、アウトカム、看護の役割について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
15回	精神科薬物療法の実際②				・臨床場面での服薬心理教育、個別の服薬指導、薬剤調整ミーティングなどに参加観察し、目的、方法、アウトカム、看護の役割について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
16回	精神科薬物療法の実際②				・臨床場面での服薬心理教育、個別の服薬指導、薬剤調整ミーティングなどに参加観察し、目的、方法、アウトカム、看護の役割について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		
17回	ストレスマネジメント、リラクゼーション法 の実際①				・ストレスマネジメント、リラクゼーション法の理論と技法についての講義とディスカッションを行う。				木戸 他	演習		
18回	ストレスマネジメント、リラクゼーション法 の実際②				・臨床場面でのストレスマネジメント、リラクゼーション法を参加観察し、目的、用いられた理論と技法、アウトカム、看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。				木戸 他	演習		

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
19回	ストレスマネジメント、リラクゼーション法の実際②	・臨床場面でのストレスマネジメント、リラクゼーション法を参加観察し、目的、用いられた理論と技法、アウトカム、看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。	木戸 他	演習
20回	ストレスマネジメント、リラクゼーション法の実際③	・アロマセラピー、タッチング、アサーション、アンガーマネジメント、マインドフルネスなどの手法から一つ選択し、学生・教員を対象に計画立案、実施、評価を行う。	木戸 他	演習
21回	ストレスマネジメント、リラクゼーション法の実際③	・アロマセラピー、タッチング、アサーション、アンガーマネジメント、マインドフルネスなどの手法から一つ選択し、学生・教員を対象に計画立案、実施、評価を行う。	木戸 他	演習
22回	ストレスマネジメント、リラクゼーション法の実際③	・アロマセラピー、タッチング、アサーション、アンガーマネジメント、マインドフルネスなどの手法から一つ選択し、学生・教員を対象に計画立案、実施、評価を行う。	木戸 他	演習
23回	芸術療法の実際①	・芸術療法（園芸療法、音楽療法、陶芸、コラージュなど）の理論と技法についての講義とディスカッションを行う。	木戸 他	演習
24回	芸術療法の実際②	・臨床場面での芸術療法を参加観察し、目的、用いられた理論と技法、アウトカム、看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。	木戸 他	演習
25回	芸術療法の実際②	・臨床場面での芸術療法を参加観察し、目的、用いられた理論と技法、アウトカム、看護における援助場面への適応について考察し、レポートにまとめる。	木戸 他	演習
26回	サポートグループの実際①	・当事者と家族を対象としたサポートグループの役割についての講義とディスカッションを行う。	木戸 他	演習
27回	サポートグループの実際②	・当事者または家族のサポートグループの活動を参加観察し、役割、内容、アウトカム、看護の役割について考察し、レポートにまとめる。	木戸 他	演習
28回	サポートグループの実際②	・当事者または家族のサポートグループの活動を参加観察し、役割、内容、アウトカム、看護の役割について考察し、レポートにまとめる。	木戸 他	演習
29回	各セラピーの看護における援助場面への適応	・参加観察し、レポートにまとめた内容を発表し、各セラピーの看護における援助場面への適応についてディスカッションする。	木戸 他	演習
30回	各セラピーの看護における援助場面への適応	・参加観察し、レポートにまとめた内容を発表し、各セラピーの看護における援助場面への適応についてディスカッションする。	木戸 他	演習
31回	患者・看護師関係の評価および自己洞察①	・ペプロウの人間関係理論に基づく、自己の援助場面を再構成と患者・看護師関係の評価、自己洞察についての講義とディスカッション	木戸 他	演習
32回	患者・看護師関係の評価および自己洞察①	・ペプロウの人間関係理論に基づく、自己の援助場面を再構成と患者・看護師関係の評価、自己洞察についての講義とディスカッション	木戸 他	演習
33回	患者・看護師関係の評価および自己洞察②	・文献を活用し、再構成のためのツールを作成する	木戸 他	演習
34回	患者・看護師関係の評価および自己洞察②	・文献を活用し、再構成のためのツールを作成する	木戸 他	演習
35回	患者・看護師関係の評価および自己洞察②	・文献を活用し、再構成のためのツールを作成する	木戸 他	演習
36回	患者・看護師関係の評価および自己洞察③	・援助場面の再構成をおこない、作成したツールを使用して、患者・看護師関係、コミュニケーション技術を考察する	木戸 他	演習
37回	患者・看護師関係の評価および自己洞察③	・援助場面の再構成をおこない、作成したツールを使用して、患者・看護師関係、コミュニケーション技術を考察する	木戸 他	演習
38回	患者・看護師関係の評価および自己洞察③	・援助場面の再構成をおこない、作成したツールを使用して、患者・看護師関係、コミュニケーション技術を考察する	木戸 他	演習
39回	患者・看護師関係の評価および自己洞察④	・対応が難しい対人援助場面を取り上げ、ロールプレイを行い、自己のコミュニケーション技術を向上させる	木戸 他	演習
40回	患者・看護師関係の評価および自己洞察④	・対応が難しい対人援助場面を取り上げ、ロールプレイを行い、自己のコミュニケーション技術を向上させる	木戸 他	演習
41回	患者・看護師関係の評価および自己洞察④	・対応が難しい対人援助場面を取り上げ、ロールプレイを行い、自己のコミュニケーション技術を向上させる	木戸 他	演習
42回	患者・看護師関係の評価および自己洞察④	・対応が難しい対人援助場面を取り上げ、ロールプレイを行い、自己のコミュニケーション技術を向上させる	木戸 他	演習
43回	患者・看護師関係の評価および自己洞察⑤	・再構成を行った場面で生じた自己の感情について、ディスカッションを行い、自己洞察を深める	木戸 他	演習
44回	患者・看護師関係の評価および自己洞察⑤	・再構成を行った場面で生じた自己の感情について、ディスカッションを行い、自己洞察を深める	木戸 他	演習
45回	まとめ	・科目を通した学びを発表し、到達目標に対する自己評価を行う ・今後の自らの課題について、ディスカッションする	木戸 他	演習